

## 登録団体概要書

## 1 団体名・活動分野・自己PR（各項目の記載枠サイズは、適宜加工してください。）

(1)団体名	特定非営利活動法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所
(2)種類	特定非営利活動法人 任意団体 その他（ ）
(3)主な活動分野	福祉 環境 文化 スポーツ 子どもの健全育成 その他の社会貢献に係る分野（ ）
(4)自己PR・アピールポイント	子どもとメディアについて、ともに、悩み、考え、行動する、メリ研は、インターネットや携帯などの、メディアの正しい理解と使い方を伝えています。子どもたちがインターネットなどメディアによって傷つくことのない社会を目指して活動しています。浜松市民の皆さまのご理解とご支援をお願い致します。

## 2 活動について

(1)これまでの主な活動実績	<p>講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員向け <ul style="list-style-type: none"> <li>23年11月 静岡大学教育学部附属中学校職員「情報モラル研修会」</li> <li>23年11月 袋井市教育委員会情報モラルチーム研修会など</li> </ul> </li> <li>・市民向け <ul style="list-style-type: none"> <li>22年11月 静岡県少年警察ボランティア連絡協議会少年警察ボランティア連絡会地域カンファレンス</li> <li>23年6月 磐田市立小中学校 PTA 連絡協議会役員研修会など</li> </ul> </li> <li>・中学校区健全育成会 <ul style="list-style-type: none"> <li>23年8月 浜松市立浜北北部中学校区青少年健全育成会</li> <li>23年11月 浜松市立庄内中学校区青少年健全育成会など</li> </ul> </li> <li>・高等学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>23年7月 県立池新田高校生対象情報モラル講座など</li> </ul> </li> <li>・中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>22年10月 静岡大学附属浜松中学校研究授業ゲストティーチャー(メディアリテラシー)</li> <li>23年7月 浜松市立蛸塚中学校保護者対象講演会</li> <li>24年1月 浜松市立江南中学校情報モラル講座など</li> </ul> </li> <li>・小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>24年2月 浜松市立城北小学校情報モラル講座など</li> </ul> </li> <li>・幼稚園</li> </ul>
----------------	---

	<p>23年2月 浜松市立幼稚園 PTA 連合会 3 部会研修会など調査</p> <p>22年12月 浜松市内小中学校生徒対象インターネット利用実態調査(浜松市委託緊急雇用事業)</p> <p>23年10月 磐田市内小中学校生徒対象インターネット利用実態調査(磐田市教育委員会委託事業) など</p>
(2)団体の目的 (定款等に記載された目的)	<p>NPO 法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所、通称「メリ研」は、子どもたちのよりよいメディア環境をつくっていくために、研修・講座事業や普及啓発事業などを通じて、メディア環境に関する子どもや大人の学びを支援するとともに、学びを通じて市民の知恵を集め、研究、提言していくことを目的に活動しています。</p>
(3) 団体の活動・業務(事業活動の概要)	<p>保護者・健全育成会・教職員など大人向けの講演や講座・ワーク(ケータイフォーラム)、小中高生向けの情報モラル講座、保護者アンケート調査とその分析、子どもたちのインターネット利用実態調査(ネットパトロール)とその分析、教職員指導用資料や報告書作成などがおもな活動です。また保護者や教職員からの相談やアドバイザー養成講座、インターネットメディアのリテラシー教育に関する啓発なども行っています。</p>
(4) 現在特に力を入れている事業	<p>子ども向けの情報モラル講座と子どもとインターネット利用実態調査にくわえ、大人向けスマートフォン講座</p>
(5) 4 の事業に関する地域の課題・目的(必要性)	<p>(地域の課題)</p> <p>大型ショッピングセンターの進出に伴い、周辺の地域にもゲームセンターやパチンコ店などの出店が相次ぎ、大きな環境の変化に子どもたちだけでなく大人も戸惑っている中、さらに情報環境の急激な変化により、大きく関与しあっている「情報と現場」の実情が理解しがたくなっている。</p> <p>(目的・必要性)</p> <p>子どもたちを守るために活動する地域の保護者・教職員・住民が、課題を認識し解決に向かい主体的に行動するためのきっかけとなる研修や講座の必要性は高い。</p>
(6) 4 の事業の目標と成果の確認方法	<p>(目標)</p> <p>課題認識とそれぞれの解決法を共有する。</p> <p>(成果の確認方法)</p> <p>受講者アンケートの実施やニュースレターの発行とその公開。</p>
(7) 4 の事業に関する今後の方向性・ビジョン	<p>日々変化する情報環境の中で、デジタル情報のメリット・デメリットを認識し、課題を主体的にとらえ考え行動する市民を増やしていきたい。</p>

